

夢叶うまで挑戦



令和6年6月4日（火）

諏訪市立諏訪南中学校

NO. 2



◇4月末～5月の南中の様子より◇

PTA総会(R6.4.26)～ 校長先生のお話より～

＜前略＞ （※文中、一部省略箇所あり）

今日はここからが本題ですが、校長も替わり、「どんな学校づくりを目指していくか」ということについてお話しします。学校のビジョン（理想）は、生徒にとってウェルビーイングな場所ということになります。ウェルビーイングとは、今いろいろなところで使われている言葉で、大きくは幸せということになりますが、身体的、精神的、社会的によい状態を指します。自分の居場所が学校にある、やりたいことに挑戦できる学びがあることも大切になります。そのために、やはり「授業」と多感な時期の生徒を支援する「生徒指導・生徒支援」の両輪を軸にした学校づくりをしたいと考えています。

では、はじめに授業では何を大切にしていくのかです。授業でつける力が示されているものに国の学習指導要領と言われるものがあり、約10年に一度改訂され、現行の新学習指導要領は、令和3年度から完全実施となり4年目になります。これまでのような「知識・技能」の習得を重視してきた学習から、「資質・能力」を育む学びへ変えていくことが示されています。資質・能力とは、具体的に「言語能力」「情報活用能力」「問題発見・解決能力」「現代諸課題に対応できる力」と示されています。各教科の専門的な知識や技能を身に付けるだけではなく、全ての教科を通して学ぶ過程の中でこの資質・能力を育むことが求められます。そして、このような資質・能力を育むための方法として「個別最適な学び」「協動的な学び」ということがよく言われています。そこで南中では、ICTの活用と学び合いを取り入れた授業づくりを進めていきたいと考えています。その結果、「協働的な問題解決力」すなわち、みんなで一つの課題を解決したり、一つのものを創り上げたりする力をつけていきたいと考えています。できる教科、できる単元、できる先生からそんな授業づくりをしていきます。

次に、多感な時期の生徒に、どのような生徒指導や生徒支援をしいていくかです。社会の中で自分らしく生きるためにつけたい力や指導の実際が示された「生徒指導提要」と言われるものがあり、一昨年に12年ぶりに改訂されました。「自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支える」ということが示されているように、今回の改訂では「支える」という表現が多く使われており、教師による上からの強い指導ではなく、生徒の主体的な変化を後ろから支援するといった教師の姿勢が示されています。そして、生徒自身に自己指導能力、すなわち主体的に問題や課題を発見し、自らの行動を決断し実行する力を育成することが大切になります。そこで南中では、全ての生徒に多様性を認め合える人権感覚の育成を目指します。自分も一人の人間として大切にされている、間違いやできないことを笑わない集団、自ら考え選択し決定する場がある、そして、安心して学校生活を送れる風土があるこれらのことを授業を中心とした全ての教育活動を通して、学級、学年、全校で大切にしていきます。

更に、判断力が未熟な思春期の生徒ですので様々な問題行動も予想されます。そのような問題行動に対して、本校では大きな声を出して高圧的に指導するのではなく、自己の言動を振り返らせたり、正しいこと、正しくないことを考えさせたり、自分の将来から今あるべき姿を生徒に問うたりしていきたいと考えています。ただし、ラインボックスにあるように、命や安全を脅かす言動や他者を傷つける言動、時間を守る行動については、時としてその場で厳しく指導をします。また、本年度は「体育館への無言入退場」を全職員共通で意識した指導をしたいと思います。保護者の方と情報を共有しながら、保護者の方のご意見もお聞きし、お子さんのよりよい成長のために共に力を合わせていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

今日は時間の都合もあり、一方的な説明になりますが、ご意見やご質問があれば、ぜひ校長室へお寄りいただければと思います。一年間、よろしくお願いいたします。

S各学年の様子からS

【1学年】ふれあい体験学習（茅野市千駄刈自然学校・諏訪市ガラスの里）より

去る5月17日（金）、「仲間のよさを発見し、仲間との仲を深めよう!」と、今回の体験学習の目標を定め、学年および学級の人間関係づくりや、集団づくりを深める機会となりました。



【2学年】ものづくり科（カリン学習・講演会）より

去る5月27日（月）、カリンに関わる講演会（講師：河西敏夫先生）が行われ、あらためて、相手意識に立ち「ものづくり科：カリン学習」で、どんな活動をしていこうか考えを深める機会となりました。



【3学年】学年壮行会（5/28 中体連メンバー&5/31 クラブチームメンバー）より

先週の5月28日（火）と31日（金）に「学年壮行会」が行われ、中体連メンバーに加え、クラブチームのメンバーにも、学年からエールを送ろうと企画し、お互いの健闘を祈る機会となりました。



#学校全体の様子から#

【5/10 第1回生徒総会の様子より】

今年度、第1回目の生徒総会が行われました。3年生および生徒会役員の皆さんを中心に、1・2年生からも活発な意見が出された活気ある生徒総会となりました。



【5/30 第2回参観日の様子より】(授業風景&相談学級販売学習から)

多くの保護者の方々に参観日に足を運んでいただき、誠にありがとうございました。また、昇降口では相談学級の生徒による販売学習も行われました。ご購入いただいた皆様、ありがとうございました。



【5/30PTA講演会より】講師：上田情報ビジネス専門学校副校長 比田井和孝先生

「幸せな人生を歩むためにとても大切なこと」と題して、生徒および保護者の皆様に、今大切にしたいこと等、熱く語っていただきました。



中体連に向けて～校長先生からのメッセージ～

「シュートなくしてゴールなし」

応援生徒の皆さん、選手を後押しする応援をありがとうございました。
みんなの思いが選手の心にしっかりと届いたと思います。

選手の皆さん、いよいよ中体連南信大会となります。

これまで皆さんは、試合に勝つために、そして、自己記録を更新するために、日々練習に励み、最善の準備をしてきたことと思います。

その力を100%発揮できるように、校長先生から一つアドバイスをしたいと思います。

校長先生も長年サッカーの競技に携わってきたサッカー人です。選手の時、そして監督のとき常にプレーや判断のより所にしていた言葉があります。

それは初代Jリーグのチェアマンだった川淵三郎さんの「シュートなくしてゴールなし」という言葉です。「シュートを打たなければ得点は生まれない」当たり前で、とてもシンプルなメッセージです。しかし、そこには自分の心を強気に、そして、プレーの選択をシンプルに考えさせてくれる力があると思っています。

「シュートなくしてゴールなし」

是非、みなさんも緊張したとき、プレーに迷ったときに、攻める強い気持ちを持つこと、自分のプレーをシンプルに考えることで、持っている力を100%発揮してもらえたらと思います。

南中生らしいクレバーで力強い戦いに期待しています。 健闘を祈ります！



セクハラや生徒に関わる相談窓口は、
保健室（南校舎管理棟1階職員室横西側）
校長室（南校舎管理棟1階職員室横東側）
です。何か不安や悩みがあったら相談を。

諏訪市立諏訪南中学校 文責：市川 寿（教頭）
電話：0266(53)5566 FAX：0266(53)5563
電子メール suwaminami.jhs@suwa-ngn.ed.jp
HP [http:// www.city.suwa.lg.jp/site/school/list78.html](http://www.city.suwa.lg.jp/site/school/list78.html)

